PTA 会員の皆さま

平成28年12月7日
名古屋市立東山小学校 PTA
研修委員長　犬飼　志保

「第 2 回　家庭教育セミナー」を終えて

11 月 17 日（木）、南山高等・中学校男子部教諭　中谷豊実先生を講師にお迎えして、第 2 回家庭教育セミナーを開催いたしました。多数の方にご参加いただき、ありがとうございました。講演の概要を以下に報告いたします。

演題 『子どものこころに微笑みを！～児童の悩み、反抗期、思春期に向き合う子育て～』

デリケートな話題を、ユーモアを交えてお話いただきました

1. 自己肯定感と豊かな関係性

自己肯定感とは

「自分は生きる価値がある、誰かに必要とされている」と、自らの価値や存在意義を肯定できる感情のこと。

自己肯定感の高い子どもは、自分に自信があり、何事にも挑戦していく強い心を持っている。

- 自己肯定感の高い子はハイリスクな行動を避ける。
- 自己肯定感の低い子は性犯罪の被害者・加害者になりやすい。

自己肯定感を高める言葉がけのポイント！「さしすせそ」
さ →「さすが！」　し →「知らなかった！」　す →「すごい！」
せ →「センスいい！」　そ →「そうなんだ！」

豊かな関係性を築くためには

- 今の子どもは知識が偏っていて、豊かな関係性が築けていない。
  (性についての情報源は、第一位「友人」（男女とも）、第二位「ネット」（男）「コミック」（女））
- 子どもたちは「異性の心理」「交際の仕方」「愛とは何か」といった豊かな関係性を築くための知識を得たいと思っている。
- 自分も相手も互いに認めて尊重しあうことを教えるのが親の役目、そのために親子のコミュニケーションがとても大事。

2. 家庭での性教育について

(1) 子どもに話すときには…「あせらず・あわてず・ごまかさず・あっさりと」

- 早い時期に知ると、性に対して興味を持ちすぎるのではというのは考えすぎ。「親に聞けばいいんだ」と意識させ安心させることが大切。
- 嘘はついてはいけない、でも必要以上のことを教える必要もない。
- 具体的なものを使って説明すると分かりやすい。

（中谷先生は 16 週の胎児の足形のネクタイピンを使って子どもたちに性教育の話をしている）

低学年への伝え方の例

「あなたは、お母さんのおまたから生まれてきたのよ。おまたにはあかちゃんが生まれてくるトンネルがあるのよ。」

高学年への伝え方の例

「魚はお母さんが卵をたくさん生んで、お父さんがその卵にいのちのもとをかけていくのよ。でも育つのはそのうちの 1 匹か 2 匹だけなの。人間の女の人にも卵があるけれど数が少ないから、男の人はおちんちんを使って、女の人の体にあるあかちゃんが生まれるトンネルへいのちの元を確実に届けるのよ。」

(2) 守ってほしいとても大切なところの伝え方-プライベートゾーン-

プライベートゾーンとは

- 水着で隠れる体の部分でとても大切なところ。
- 「見せられることも見せることも、さわることも、さわられることも気を付けよう。基本的に許されるのは、家族やお医者さんぐらいかな。」と伝える。

プライベートゾーン

出典: http://www.f-edu.u-fukui.ac.jp/~f-tokusi/img/hoken/h26_10.jpg

先生おすすめの本

- いのちのなぞ＜上の巻＞＜下の巻＞　越智典子著　朔北社
- 男の子が大人になるとき　中村光宏著　少年写真新聞社
- 思春期の性　ーいま、何をどう伝えるかー
  岩室紳也著　大修館書店
- にない合う思春期の性と子育て　ーお父さんにも頼みたい！
  村瀬幸浩著　十月舎
- お母さんのための性といのちの子育読本
  永原郁子著　Forest Books
- 思春期ガイド:性と自立へのステップ
  河野美代子・村瀬幸浩著　十月舎

【性や思春期の悩みを相談したいときは】

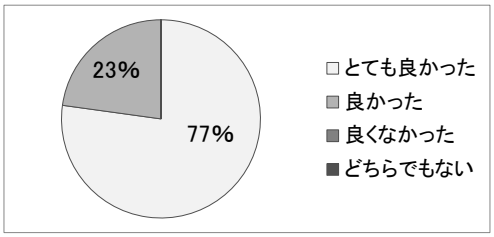
愛知・思春期研究会　ホームページ　http://aishiken.jimdo.com

【性被害にあったときは】

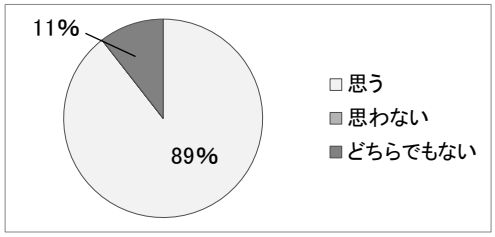
名古屋第二赤十字病院　性暴力救援センター日赤なごや「なごみ」
24 時間ホットライン 052-835-0753

3. アンケート報告（回答人数 70 名）

1) セミナーに参加して良かったですか？



2) 今回の講演を聞いて、子どもへの関わり方が変わると思いますか？



3) 主なご意見・ご感想

- 自分を大切にし、人と豊かな関係を築くために、性教育はとても大切だということがわかりました。親として正しく伝えてあげたいと思いました。全体を通してとてもためになる素晴らしいお話でした。
- 普段避けてしまうことが多いですが、きちんと子どもと向き合って性の話をすることが子どもの成長には大切。子どもも戸惑っているんだと分かり、子どもが話しかけてきたら向き合いたいと思いました。また、性で困ったことがあった時の相談機関が分かって心強いです。
- 「3～8才から、さらっと伝える」というのは初耳でしたが、子どもがちょうどその年齢なのでやってみたいと思います。
- 今回の講話は、お父さんにもぜひ聞いてほしい内容でした。父親も参加しやすい土日にもう一度このような機会があると良いと思います。
- 性犯罪の被害者・加害者にならないためのスマホとの付き合い方も聞いてみたいです。
  「あせらず・あわてず・ごまかさず・あっさりと」

以上